広報 こすど
発行所 小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
編集発行 印刷人 矢部藤三郎

"正しい言葉で村中笑顔"

—新生活運動力強い歩みの水田部落—

新生活運動が叫ばれてから既に数年「笛吹けども踊らず」で、当局の熱意に対して一般の理解協力が足らず、とかく足踏みの形であったが、最近は各部落単位に下から盛り上る力で活発な動きが見られるようになってきた。これは既に実践活動に入ってしかも成果をあげている水田部落の実状をレポートして全町民の皆さんにお贈りするものである。

発案は婦人会　推進活動には青年団も

四月十日部落婦人会の正副会長が突然、公民館の木村横水分館長を訪れ「婦人会で言葉の改善と行語を借りるならば神武以来のドライ。火災に関しては毎日ラジオや新聞で報じているごとく、至る所で発生し不当に有難くない記録を作っているようだ。

火災の恐ろしさやその損失、時には火傷や焼死等の事故まで招く、ああした悲惨な状態は今更ここで言うまでもない。

幸にして、最近当町に関して火災が新聞に出てこないのは幸であると言っても決して油断はできない。もっとも火災と言うものの大部分は天災でなく、人災であるとまで言われている。

従って各人の「火」に対する細心の注意と努力さえあれば、絶対に防止でき得るものと思う。各家庭ではふだんの用意ができているであろうか？

最近家庭電化や台所改善に各家庭では力コブを入れているようであるが真に家庭を守る意味からも、台所改善や電化に先きがけ、ふだんの消火の用意が必要なのではあるまいか。

この事については案外多くの家庭では後廻しにされている。それと言うのも、そうちょいちょいみる要があろう。

火災には「シーズン」はない。

火災について目下の流行語を借りるならば神武以来のドライ。火災に関しては毎日ラジオや新聞で報じているごとく、至る所で発生し不当に有難くない記録を作っているようだ。

火災の恐ろしさやその損失、時には火傷や焼死等の事故まで招く、ああした悲惨な状態は今更ここで言うまでもない。

幸にして、最近当町に関して火災が新聞に出てこないのは幸であると言っても決して油断はできない。もっとも火災と言うものの大部分は天災でなく、人災であるとまで言われている。

従って各人の「火」に対する細心の注意と努力さえあれば、絶対に防止でき得るものと思う。各家庭ではふだんの用意ができているであろうか？

最近家庭電化や台所改善に各家庭では力コブを入れているようであるが真に家庭を守る意味からも、台所改善や電化に先きがけ、ふだんの消火の用意が必要なのではあるまいか。

この事については案外多くの家庭では後廻しにされている。それと言うのも、そうちょいちょいみる要があろう。

火災に見舞われない為でもあろうが、各家庭でもふだんの心がけと消火器の一つくらい備え、火災から守らなければならない。

火災と併行して水難事故がある。例年の事ながら今年も又梅雨が明ければ日増に暑さが加わり、早くも河童連がアッチコッチに現れ、大人も小人も水が恋しい季節が訪れて来た今日この頃、この水難事故について各人の対策はできていたであろうか……

毎年のことながら特に子供の水難事故が多いようであるが、之について親として子供に対する責任を自分の胸中にもう一度かみしめて見る要があろう。

ころばぬ先の杖

恐れよ火難と水難

今の今まで元気でいた子供が、数時間後に帰らぬ人となる事故がいかに多い事か…　思えば昨年当町に於て二・三の水死事故があった。その内幼い兄弟が仲良くエビガニ捕りに出かけ、兄弟二人が水死体となって尊い生命をなくされたが

ウワサも七十五日のタイトの如く、もうあの話は人さまの口に余りのぼらなくなったが、当の御いとこの肉親は幾年経っても、その悲惨な禍影は終生忘れがたいであろう。それが吾が身であったとしたら思っただけでも余りにも痛ましい事故ではなかろうか？

悲哀は共に悲しみ慰め合わなければならないと言って、之がため何事も決して恐れる要はないと思う。悲しみ絶望する前に昔の古諺に

「転ばぬ先の杖」と言われる如く、備えあれば憂いなしで、要するに何事も先き立って細密な計画と万全な準備を整えさえすれば、事故も未然に防止でき得るものと思われる。

之も徒らな他力本願であっては意味がない。

学校等に於て早や臨海学校の話が盛上っている会を手をたづさえて進もうが結構な話である。だがうではありませんか。

事故皆無の面から、今か真に家庭を明るく幸福を願い夢を求めて——

そして個人々々の幸福について思いをこらしながら、事故のない幸福な社

× ×

矢代田　寿屋徳一

運動目標

言葉の改善

「ツアツア」「カカ」や名前の呼び捨て

アダナを止めて「お父さん」「お母さん」と正しい言葉で話しましょう。

虚礼の廃止

旅行のみやげの贈答を止めましょう。

時間厳守

集会の時間を正しく守りましょう。

小須戸町教育目標

○民主的で明朗な人となる
○文化的で心身共に健康な人となる
○生産的でたくましい人となる

目標は身近かな問題を

この会談では、まず推進活動の主体を青年団、婦人会に置く事を確認すると共に、運動目標についての討議研究を行ったその結果、いたずらに間口を広げるよりはお互の各戸へ配った趣意書「身近かな問題」をという事に意見が一致し、常々諸会合等に話題になっている「言葉の改善」「虚礼の廃止」「時間厳守」を取上げる事に決定した。

その後更に研究会合を持ち、推進方法を検討した結果、部落民に天下り式に強要するよりも徐々に関心と理解を高める事によって成果を期する事とし、運動目標を掲げた趣意書を各戸に配布し、更に一般より関係標語を懸賞募集する事にした。

趣意書の配布と関心を集めて募の標語

標語については全戸数四六戸中、三十八名の応募があり全く予想以上の反響に驚かされた。前関係四者代表により審査会を開き、左記五句を入選とし賞品(経費一千円は部落費より)を贈呈した。

○正しい言葉で村中笑顔
○言葉をよくして明かるい家庭
○土産にまさる観光話し
○乗物に乗る気で行こう集会へ
○あと五分待たせる身でなく待つ身で行こう

現在この標語と趣意書が各戸とも一番見易い場所に掲げられて朝夕家族の道しるべとなっている。

× ×

この活動について木村分館長談

「全く婦人会と青年団の盛り上る力と熱意によるものですよ。今のところほんの部落内の身近かな問題だけですが、今後は全町を対象とした新正月実施、その他の大問題へ発展しなければならないと思いますね。なおこの運動を通じて部落民の間に非常に親密感が湧き上ってきた事は何物にもかえがたい収穫でした。」

早くも四月十二日に区長分館長、青年団、婦人会幹部の四者会談が持たれた。

ほねつぎ医者　柔道整復師の保険給付の取扱い

昭和三十二年度の国民健康保険の会計も五月三十一日で閉鎖され、幸い医療費の支払も順調に年度を越す事ができました。

逐時当町国保も好転しつゝ事業を運営できますのも、被保険者の皆様の御協力の賜と喜んでおります。

さて昭和三十三年度より柔道整復に患る場合の取扱いが改正されましたのでお知らせ致します。

それは県の認可のある柔道整復師(通称はねつぎ医者)は、一般外科医師と区別されている為、保険給付をする場合には、患者は必ず印鑑と保険の受診証を持参しなければならなくなりました。

それは医療担当者が保険者(役場)へ提出する「被保険者療養費支給申請書」に、被保険者(皆さん)の「受領方委任」の捺印をして請求しなければならないのです。

それで今後は柔道整復師を利用される方は右の通り処理する関係上、御厄介でも印鑑を忘れないで持参下さるようお願い致します。

参考迄に近郷の柔道整復師は、加茂市　至誠堂(新井一右ヱ門)　新津市　名倉堂(坂爪勤)です。

一般に右と同じように思われている新津市、新潟市の猫山宮尾医院、西蒲原郡富永の草野医院等は外科医師なので、印鑑は必要と致しませんから受診証だけ持参するようお願い致します。

(厚生課)

撤水組合からの御願い

昨年までは小須戸町に皮肉な人の口によると、全国一が三つあるとの事でしたが、その内の二つは皆様の推定におまかせするとして、残りの一つは「撤水事」の事だったのです。

町民から種々と悪口を言われた撤水も、町部だけの利用施設でありましたが、町当局でも限られた予算の内から、今日までに「組合の赤字の補填」「涼水吸取施設の改善」等に多大の御協力を頂きましたが、本年はまた撤水タンクの修理改善の為に大巾の補助金の交付を頂き、お蔭を以て全国一の三つの内の一つを解消する事ができ、世間の人が見ても恥かしくない立派なタンクで撤水する事が出来るようになりました

なお請負者の東部さんも町の環境衛生発展の為に多大なる御協力を下され、専用車を提供し低廉なる料金で利用者の皆様の不平の出ないような撤水を実施して頂いております。

扨て各町内の負担金の集金状況を見ますと、規定の「各町内委員は自町内負担金を毎月二十五日までに集金の上、役場の係へ納入のこと」が確守されておらぬ一部の町内もあり、その為東部さんへの支払いさえ支障を来すと言う状態で、組合としましても大変困っておる次第です。

その理由は町内によっては負担金の町内での賦課率に対する不服、町予算で実施すべき事業等々種々あるようですが、役場側としては前述のように多分の御協力を頂いており、なお将来とも環境衛生事業の一環としての性質上、撤水費の補助金を申請して受益者皆様方の負担の軽減を図る積りでおります。

当分の間は撤水費町内負担額は集金担当者が町内の方々の納得の行くような方法で徴収の上「毎月二十五日までに役場の係へ納入」を厳守励行くださるよう特に御願い申しあげます。

各口が自分の住んでおる町ですから一人一人が町を愛し、その発展に協力して、より良い立派な町に育て上げるよう努力しましょうではありませんか。

小須戸町撤水組合

小須戸一の矢代田間の交通量は？

県道矢代田小須戸間は町の大幹線だけあって、朝夕ラッシュ時の交通は目まぐるしいようである

六月十、十一、十二の三日間建設省新潟出張所で交通量調査(白根五泉間延長一五・二料道路交通情勢調査観測)を行ったが、中学校前坂秀自転車店付近に於ては次のような数字が表われた。

○歩行者
一、九八八人
(一日平均六六三人)
○自転車
二、六三〇台
(〃　八八〇台)
○牛馬車・荷車
八八台
(〃　二九台)
○原動機付自転車
九九台
(〃　三三台)
○軽自動車・自動二輪車
四五六台
(〃　一五二台)
○乗用車・乗合自動車
一九四台
(〃　六五台)
○貸物自動車
五九八台
(〃　一九九台)

以上観測時間は午前七時より午後七時まで。

この調査資料を御提供下さいました調査員の方に厚く御礼を申上げます

(編集部)

七月一日　商業統計調査実施

通商産業省では本年七月一日現在で全国の卸売小売業等を営んでいる商店について、もれなく商業統計調査を実施する事になりました。

商業統計調査の目的は商業全般の実態を把握して、適切な商業政策を立てる上の基礎資料とするものであります。従って商店の皆様から真実を報告して頂く事によって、初めてその目的が達せられるのであります。なお調査の為に直接皆様の所にお伺い致しますから、その際は調査員に御協力されるようお願い致します。

(経済課)

さぎ

深夜の訪問者

某夜の編集会議。いつも元気で話題豊富なK氏「この間の晩はいやあ全くやられましたよ。まあ夜中だというのに、戸をドン〳〵〳〵と叩く者がいる。そして(悪者ではないぞ、わる者ではないぞ)と大声で呼ぶものだから、隣近所の人にめいわくでもあるし、寝ぼけ眼をこすりながら出て見ると、確かに自分で悪者ではないぞ、というだけあって間違いなく善人でしたよ。だいたい酒なんてものは気分のもので、何か心に企みやしこりがあると酔えない、酔えない人はどうも性が悪いという事になり、酔える人は善人だというわけなんでしょう。おかげで二時頃までおつき合いをさせられ、その日一日は眠いやら、だるいやらでさんざんでした。

いや、ま夜中の悪者ではない人とのおつき合いも楽じゃありませんなハッハッハ……　でもりんごの気持はよく判ります。かくいう私も時々ま夜中の善人になっているのかも知れませんからご本人なる故、うべなるに酒仙と許している当の「。」K氏こそ自他ともかな。

◇嫁と姑の不和は昔からの通り相場であるが、戦後の◇民主化と共に母娘の間にもとかく新旧思想の食い違いから問題が起きる傾向が現われて来た。◇去る五月二十五日夜、こうした問題を解決したい意図から次のようなテーマで婦人会、女子青年有志の皆さんのお集まりを頂き座談会を開催した。◇

"夫婦げんか"には どっちへ味方？

母と娘 女どうしが気持をかよわせる会

テーマ　誤解
司会　坂井中学校長

館長…かつてないほど多勢い方々がお集まり下さって有難うございます。誤解をなくする事はなかなかむずかしいと思いますが、話し合う機会をもつことが大事だと存じます。今校長先生司会のレクリエーションで笑っていられたその和やかな気分でお話合い願いたい

司会…少々さしさわりがあっても集まったものはみんな身内だと思って、なんでも話してもらいたい。

うわさ

娘…色々の「うわさ話し」ことに男女間のうわさなど、町が小さいものだから全く充満してるように思われる。

主婦…家庭を持ってると庭内のうわさでも井戸端会議のうわさでも、自分達だけに関係したものになるようだけど。

司会…一体どんなうわさがあるのですか、そして迷惑をこうむったってような事はありますか。

娘…親が「なまけもんで困りますて」とでもいうと、それがもう輪に輪をかけて上の端から下の端まで広がるんです。だから年頃の娘をもったら外へ出てくどくなといっている。(笑)

主婦…人のうわさをかき立てゝ面白がってる宣伝部長がいるんです、ひま人に多い。また聞き上手がいるからます〳〵盛んになる。

主婦…合いづち打ったばかりに誤解されて困った事がある。

司会…うわさというものは切りすて御免のものか

主婦…うわさを消すに努力したらどうか。

娘…出所をさがして事実をたしかめに行ったら。

主婦…どこにもいるんだから近寄らぬ事、かえってとんでもない目にあう事もある。

司会…うわさが効力をもたぬ方法はないか。

主婦…へんなうわさを聞いたらお互に聞かせ合う身近な友達をもつことが大事だと思う。

主婦…うわさを立てるのは、ひま人でなくて性格だと思う。聞き流す事だ取るに足らぬと思うう わさは友達などに話さない方がよいと思う。

主婦…親は自分の子供を信じること。

司会…顔見知りのない処にうわさは立たぬ。面白さがねらいだから尾ひれをつける。誤解も生じる。

「誤解」は考えの行き違いだが、底意のある感情的なうわさは「曲解」で一番悪質だ。

娘…人のうわさは面白いと思うが言わぬこと。

主婦・娘…刺激が少ない町だから悪いのですね。

今時のむすめ

司会…娘さん達は映画など度々見るでしょうが、親としてどう思いますか

主婦…恋愛物の映画などまねされると困るので見せたくないと思う。

娘…まあ自分が主役になったような気持で見ているが、現実的ではないから親が心配するほどのばせ上がる事はない。

主婦…二十一、三才にもなれば批判するから良いではないか。

司会…親子一緒に見て今の世の中はこう動いているがどうかと話し合ってほしい。映画は商品だからめったにない事柄が取り上げられ勝ちだが、この広い空のどこかで、こうした事もあるし、またみんなの心の隅ではこんなさゝやきもあるんだという事は考えねばならない。自分の娘がなりふりかまわぬ仇く一方の堅人だったらどう思うか。

主婦…それは程度問題だと思うし、やはり時代に生きる人がふさわしいと思う。

司会…装身具や娘同志のつき合いなどにある程度金のかゝるのはどうか。

娘…今の娘は金がかゝるといわれるが、周囲がハデになったからかゝるのだと思う、誰々が持ってるから買って貰いたいと言いたくなる。(笑)

主婦…親としてもひけ目を感じさせたくない気持はある。しかし親が自分の意見を通さなければならない時もある。

司会…そういう時親と子の言葉から「誤解」がおきやすいのではないか。

娘…親と娘がお互に納得のいくよう心を通わせれば誤解はおきないと思う

「今の子供には何を言っても駄目だから親がだまっていればいゝんだ、お前達いゝようにせい」と感情的に言いはなされるとどうして見ようもない

主婦…うちでは問題が起きると家族会議をやる、そしてそこに結論を出さすに熟朝結論を出す。大抵うまく行くようです。

娘…でも明日では間に合わぬ事もあるわ。(笑)

親と子のつながり

司会…今の若い者には叶わぬと思う事はないか。

主婦…一体今の娘は親を有難いと思っているかどうか。

娘…かげでは有難いと思ってる。よそへ出かけたりすると母も来たらどんなに喜ぶだろうと思ったり、無理に奨めて温泉へやったりした時、今頃さぞ喜んでいるだろうと思ったりする。でも面と向うとどうも……

主婦…娘が初めて俸給を頂いた時、父にかばん私に呉服物を送ってくれてうれしかった。

司会…孝行を強いて親の思う通りの子供をつくりたいと思うか。

主婦…何から何まで親の思う通りの子を期待してはいない。

司会…孝行とは「こうしたら喜んでくれるだろうか、あゝしたら喜んでくれるだろうか」と子供達が考えてくれるだけでよいのではなかろうか。血のつながりの身近な気持今までよく育てゝもらったという気持、したしい気持それが親孝行の気持ではなかろうか。貧乏国日本ではそれだけで割り切れない問題も残るが、普通の場合親はその気持を汲んでやる事で我慢しなければならないのではなかろうか。

主婦…一般にてれくさがっているようだ。

司会…割引して考えてやること、親の威光を笠にきる、そんな点からも誤解が起る。娘は売り物であるからという処から色々の心配も起きるのだろうけれども。

主婦…夫婦げんかをした時の娘の気持はどうなんだろう。

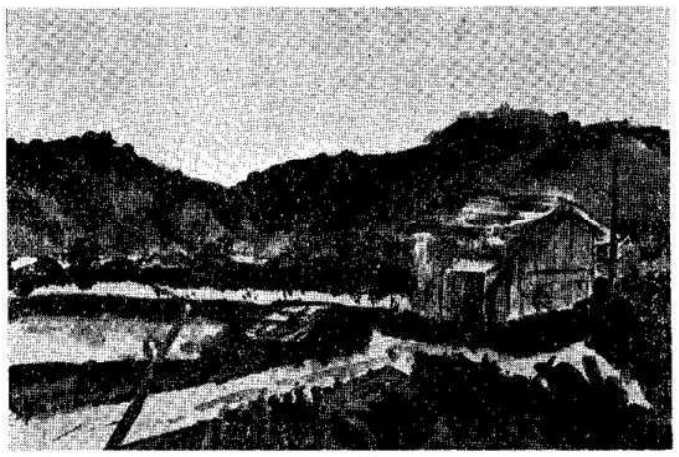
娘…時と場合によっては とても深刻に考えさせられる。

司会…どっちに味方をする気になるか。

娘…内容によってちがう小さい時はひどく父親を憎んだ事もあったが今はそうでない。

娘…やはり母親に味方する。そして母親の態度が悪かったと思われる時には後から母にそっと言うようにする。

司会…どうやらこゝへ集まるほどの方々には人の身になる事がよくお出来になって細かい心づかいをされるから話し合えば誤解の起きる事がないしまして悪意の曲解など生れないと思う。しきたり道徳は社会情勢や生活様式によって変って行くものと考えられる。お互に勉強しましょう。



中三　青木泰治

〜スエーデン刺繍講習会〜

日　時…7月6日(日曜)午前9時より
会　場…小須戸町公民館
講習内容…ハンドバック　手さげ　テーブルセンター　その他

見本は公民館にあります。

講師　実踐編物手芸学院長　樋口清野

フレーフレー 小須戸中

郷陸上競技大会で 堂々五種目優勝!!

新津、小須戸郷中学校陸上競技大会は去る六月十九日小合中学校グランドで九カ校二五〇余人の選手によって覇を競ったが、全町の与望をになって出場した小須戸中学は左記の通り入賞、中五種目は堂々の優勝の覇権を獲得した。

◎優勝
男子八〇〇米　袖山清次
女子四〇〇米継走　内山智子　中村則子　池田芳子　小島祥子
女子走高跳　森内葉子
〃走巾跳　高橋和子
〃砲丸投　原貴志子
◎二位入賞
女子二〇〇米　内山智子
◎三位入賞
男子四〇〇米　袖山清次
〃走高跳　入倉勝彦
〃八〇〇米継走　木伏忠夫　羽田野守　川口国男　風間儀四郎

有意義だった 史蹟名勝めぐり

横水分館では田植えも終り農作業も一段落したので社会部の計画で、去る九日新発田市を中心として史蹟名勝めぐりを実施した。

早朝、四十余名の参加者が快適な観光バスで出発旧川東村大友の東泉寺の後方木立深き幽玄の地である大友稲荷を参拝し、日本三大不動の一として知られている菅谷不動尊を参拝、十一時過ぎ高瀬に着き高瀬で中食、入浴後樽ヶ橋を通り、新発田市に車を進め文部省から重要美術に指定された寛文年間幕府の庭方呉宗智を招き、近江八景を取入れた純粋な京都風の典型的な廻遊式庭園である清水園を見学した。

全員無事貸切バスでの巡回研究を、有意義に終った。

中学校に 新しい先生

中学校へは去る五月三十一日付で、松本先生が退職されたので、後任として「青木実津江先生」が着任された。

村松町出身、東京昭和女子大学英文学科卒業で英語と女子の体育を担任される。

どうしている？ 県外就職の子どもたち

中学で職場補導実施

学窓を巣立って三カ月なつかしい故郷を後に或は東京、或は名古屋と県外へ就職した子供たちはどうした生活を送っているでしょうか。

中学校では例年これらの子供たちを補導激励する為に職員を特派しておりましたが、本年も次のような日程で中京、京浜方面へ岡元、長谷川両先生が出かける事になりました。

七月六日
帝国人絹　東洋レーヨン　愛知紡績　林紡績
七月七日
興和紡績　東京へ車中
七月八日
富重製作所　井手病院
高橋製作所　岸　道三
七月九日
五十嵐製作所　三英電気　佐々木佐官工業
付近絲故就職者集団指導(渋谷食堂)
七月十日
ウテナ製作所　オリエンタル製薬　尾久製パン　KK　睦電気　石川ベニア
七月十一日
東邦レース　片倉製糸

懸賞クイズ 第七回

さあ家中そろって考えましょう

先日、新保の坂秀自転車店の前で交通量の調査をしてみましたところ

(イ)人の通行が多かった
(ロ)自転車の方が多かった
(ハ)自動車が一番多かった

さて皆さん上の(　)の中でどの答が正しいでしょうか？

おわかりの方は正しいものの記号を官製ハガキに書いて七月十五日迄に「公民館クイズ係」あてにお出しください

正解者多数の場合は抽せんで十名様に賞品をさし上げます。

×　×

先月のクイズ解答並に正解者発表

A、B両列車がすれ違う瞬間においては同一の点であるはずだからA、B両列車とも大阪から等距離にある。

○正解者○
井上美佐　小向
米田算二　〃
坂井源一　矢代田
増井久一　〃
美濃洋子　〃
高倉勝久　一ノ町
田中良雄　三ノ町
加藤元三　神明町
森田洋子　横町

七月購入図書

◇軍閥興亡史　伊藤正徳
◇断弦　有吉佐和子
◇とんと昔があったけど(第二集)編　水沢謙一
◇これから本番　北町一郎
◇中国故事物語(補)　奥野信太郎
◇風と雲と　畔柳二美
◇黒地の絵　松本清張
◇名作の女性たち　山本健吉
◇中学生世界民話全集　中国の民話　村山孚
◇明日の宇宙旅行　原田三夫
◇織田信長(1無門の巻)(2三略の巻)山岡壮八
◇医師と看護婦(私たちの将来　私たちの職業)監修　伊藤祐時外
◇新聞社と新聞記者　仝
◇食品工場　仝
◇交通機関ではたらく人びと　仝
◇ナイン・ディラーズ　ドロシー・セイヤーズ
◇西遊記(世界大ロマン全集)　呉承恩
◇血と砂(仝)　ブラスコ　イバーニエス
◇無頼剣控　藤島一虎
◎みんなからぜひ読んでもらいたい本
◇人間の壁　前篇

石川達三

私達が見落す事のできぬ最も大切なこと教育者と教育の問題に著者はメスを入れた。良人に裏切られても孤独に耐えて子供を教える職業に、女性としての生きがいを見いだす尾崎先生を中心に展開される壮大な現代のロマン！　待望の愛と熱情の文学である。

◇隨筆新平家　吉川英治
◇道(愛情の記録)　波多野勤子

これは今まで何冊も書いたものとは全く違う本です、と著者はいっています。未完成の、ただの女にすぎない自分の半面を幼少時代の思いで、共線ぎで出発した結婚の苦労話、里親となった経験など生活の窓から色々と眺めて綴った自伝的隨筆です。またその窓からは新しい空気も入ってくるとも、著者は綴っています。

◇歴史のおとし子(エリザベス サンダース・ホーム10年の歩み)　文　沢田美喜　写真　影山光洋　他

沢田美喜さんの並々ならぬ十年の日日がうかがえる。混血児問題について此の写真は実に多く語り訴えられている。遠足などで一歩外へ出ると、しろうとカメラマンにとりかこまして楽しめる事もできない。「黒いから髪がちぢれているから見られるのでしょうか」という子供の悲しい問に胸せまるのは沢田美喜さんだけではないでしょう。

◇コタンの口笛(二)　石森延男

北海道の大自然の中に育つアイヌの子たち、喜びと悲しみと争いをこえ、人と人とのみぞをこえ、生きる幸福をたずねる、この物語は少年少女文学に新しい灯をかかげる。

◇雑誌
文芸春秋
オール読物
婦人朝日
キネマ旬報
相撲
野球界
暮しの手帖

◇寄贈図書
世界百科事典　二四巻
◇加藤国一郎氏より著者山手樹一郎の時代小説
江戸の恋風
又四郎行状記
はだか大名(上下)
恋風街道(上下)
江戸ざくら
お紺からす堂
青空剣法
若殿ばんざい
元禄いろは硯
桃太郎侍(上下)
恋天狗
荒木又衛門
朝焼け富士(前後)
和蘭囃子
十六文からす堂

吟行湯田上華蔵院句会

小須戸町俳句同好会

谷深く尼院に迫る若葉かな　水月
石段を登りつくして夏陽あり　杏水
雉子鳴いて新樹の山の昼深む　虚秋
蒼天やあくまで匂う新樹林　越樓
夏山の靜かに庵を覆う木立　まつし
栗の花巣箱を一つ見つけけり　渓灯
道問うて来るらし茂にある谷　香月
ゆるやかに流れふくるゝ夏の雲　山葵
緑蔭や向い合いたる石仏　旺資
峡へ吹く風をまともに杜若寺　石秋
戒律のきびしきに生き初夏に入る　流水